

## 6. 漁網防汚剤に係る排出量

### (1) 使用及び排出に係る概要

#### ① 使用される物質

水産庁によると、漁網防汚剤に含有される成分で対象化学物質に該当する物質は、ポリカーバメート(物質番号:329)、ほう素化合物(405)(以上、有効成分)、キシレン(80、溶剤)の3物質である。なお、漁網防汚剤に用いられているポリカーバメートは医薬部外品であり、農薬取締法の登録農薬には該当しない。

#### ② 届出外排出量と考えられる排出

上記①に示す漁網防汚剤は、漁業や水産養殖業で用いられるものである。養殖場(主として「ぶり」及び「まだい」)で用いられる網及び定置網に塗布されており、染色のようにタンク中で網を薬品につけ込んだ後、溶剤を蒸発させ、海水中で使用する。また、溶剤のキシレンは「ぶり」や「まだい」以外にも海面養殖全般で使用される(別の種類の漁網防汚剤と共に使用される)。漁網防汚剤の塗布作業は養殖場又は定置網が張られる場所と同一とみなし、排出量の推計を行った。

#### ③ 物質の排出

溶剤であるキシレンは大気中に、有効成分は海水中に全量が排出されるものと仮定した。

### (2) 利用可能なデータ

推計に用いるデータは表6-1のとおりである。

表6-1 漁網防汚剤の推計で利用可能なデータの種類(平成26年度)

	データの種類	資料名等
①	需要分野別・対象化学物質別の全国使用量(t/年)	水産庁調べ(平成26年使用量)
②	環境中への排出率(%)	100%(全量排出)と仮定
③	需要分野別・都道府県への配分指標の値(表6-3及び表6-4参照)	平成26年漁業・養殖業生産統計(農林水産省)

#### ① 需要分野別・対象化学物質別の全国使用量

水産庁の調査により、漁網防汚剤に含まれるポリカーバメート、ほう素化合物(トリフェニル(オクタデシルアミン)ボロン等2物質)、キシレンの全国使用量が把握できる。本データは、1月～12月までの漁網防汚剤の使用量を調査したものであり、集計値は毎年更新される。

表6-2 海面養殖等に係る漁網防汚剤の全国使用量(平成 26 年度)

対象化学物質			全国使用量(t/年)		
			海面養殖	定置網	合計
有効成分	329	ポリカーバメート	0.34	232	232
	405	ほう素化合物(ほう素換算後)	0.50	0.55	1.1
		※物質別の使用量(ほう素換算していない値)			
		トリフェニル(オクタデシルアミン)ボロン	6.1	9.3	15
	トリフェニル(3-(2-エチルヘキシル)プロピルアミン)ボロン	15	14	29	
溶剤	80	キシレン	1,440	2,677	4,117
合計			1,441	2,909	4,350

資料:水産庁(平成 26 年 1 月~12 月の使用量)

注:ほう素化合物は、トリフェニル(オクタデシルアミン)ボロン等 2 物質の全国使用量に対し、それぞれのほう素への換算係数を乗じて算出。

- ・トリフェニル(オクタデシルアミン)ボロン(分子量 511)の換算係数:0.0212
- ・トリフェニル[3-(2-エチルヘキシル)プロピルアミン]ボロン(分子量 428)の換算係数:0.0252

## ② 排出率

溶剤として用いられるキシレン、有効成分のポリカーバメート及びほう素化合物は、使用量の全量が環境中へ排出される(排出率=100%)と考えられる。

## ③ 需要分野別・都道府県への配分指標の値

養殖に用いられる漁網防汚剤のうち、有効成分として対象化学物質(ポリカーバメート等)を含むものは「ぶり」、「まだい」の養殖を中心に使用されるが、漁網防汚剤の溶剤として使用されるキシレンは、「ぶり」や「まだい」以外にも含めた養殖用漁網全般に使われる。「ぶり」「まだい」以外の養殖に用いられる漁網防汚剤の有効成分に対象化学物質は用いられていない。

なお、統計資料に秘匿箇所がある場合には、秘匿箇所を除いた都道府県の合計値と合計欄の数値の差(秘匿箇所の合計値)を算出し、秘匿箇所に該当する都道府県の前年の値に比例して配分した。

表6-3 漁網防汚剤に係る需要分野別の都道府県への配分指標(平成 26 年度)

需要分野等	配分指標	資料名
海面養殖(有効成分)	「ぶり類養殖」「まだい養殖」の収穫量合計	平成 26 年漁業・養殖業生産統計 (農林水産省)
海面養殖(溶剤)	「海面養殖」の収穫量	
定置網	「大型定置網」等の漁獲量合計	

表6-4 漁網防汚剤に係る配分指標の値(平成26年度)

都道府県	養殖(収穫量:t)				定置網(漁獲量:t)		
	ぶり 養殖	ま だ い	だ ぶ り 合 計	海 面 合 計 養 殖	大 型 ・ さ け	小 型	定 置 網 合 計
1 北海道				146,500	163,200	30,100	193,300
2 青森県				63,500	4,200	11,100	15,300
3 岩手県				32,100	41,600	2,200	43,800
4 宮城県				73,800	20,800	4,000	24,800
5 秋田県				100	900	1,900	2,800
6 山形県					7	700	707
7 福島県							
8 茨城県				100	457		457
9 栃木県							
10 群馬県							
11 埼玉県							
12 千葉県	51	8	59	9,800	8,700	1,200	9,900
13 東京都		3	3	100		200	200
14 神奈川県				1,000	10,200	1,600	11,800
15 新潟県				1,000	5,400	1,500	6,900
16 富山県					17,400	1,300	18,700
17 石川県				2,000	15,500	1,500	17,000
18 福井県		100	100	300	7,900	800	8,700
19 山梨県							
20 長野県							
21 岐阜県							
22 静岡県	200	800	1,000	3,000	6,800	800	7,600
23 愛知県				14,900		300	300
24 三重県	1,400	4,600	6,000	25,200	9,300	2,500	11,800
25 滋賀県							
26 京都府				500	8,200	700	8,900
27 大阪府	51	8	59	600		100	100
28 兵庫県	203	32	236	56,000	400	700	1,100
29 奈良県							
30 和歌山県	100	1,500	1,600	2,600	2,800	600	3,400
31 鳥取県				800		1,318	1,318
32 島根県				400	4,300	382	4,682
33 岡山県				23,100		400	400
34 広島県	200	200	400	120,100		600	600
35 山口県	100	16	116	2,100	800	800	1,600
36 徳島県	3,600	100	3,700	14,500	67	1,200	1,267
37 香川県	7,260	700	7,960	24,600	34	700	734
38 愛媛県	18,100	35,600	53,700	62,300	712	400	1,112
39 高知県	12,235	4,700	16,935	18,700	11,600	1,100	12,700
40 福岡県				41,200		700	700
41 佐賀県	900	300	1,200	64,500	363	700	1,063
42 長崎県	9,200	2,000	11,200	22,200	5,800	6,600	12,400
43 熊本県	7,100	9,100	16,200	51,200	27	800	827
44 大分県	20,000	400	20,400	24,300	34	2,100	2,134
45 宮崎県	10,800	500	11,300	11,700	2,400	1,300	3,700
46 鹿児島県	44,300	800	45,100	50,500	4,300	2,300	6,600
47 沖縄県		32	32	21,200	100		100
全国	135,800	61,500	197,300	986,500	354,300	85,200	439,500

資料:平成26年漁業・養殖生産統計(農林水産省)に基づき、秘匿箇所は推計による。

(3) 漁網防汚剤からの排出量の推計方法

漁網防汚剤からの排出量の推計手順は以下のとおりである。なお、図中の番号は表6-1の番号に対応している。

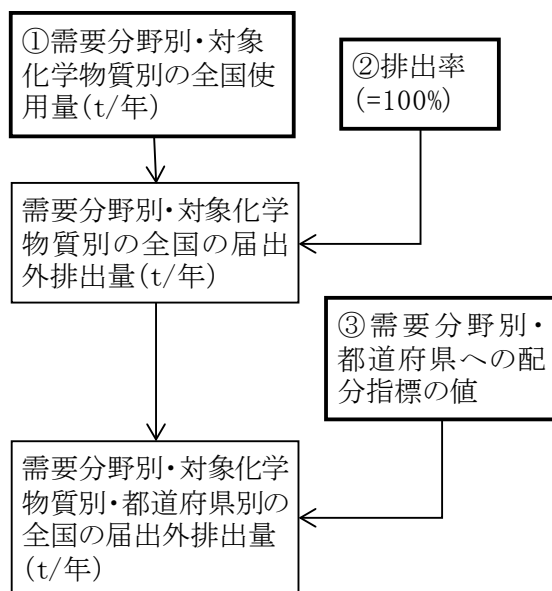


図6-1 漁網防汚剤に係る排出量の推計フロー

(4) 推計結果

漁網防汚剤に係る排出量推計結果を表6-5に示す。漁網防汚剤に係る対象化学物質(3物質)の排出量の合計は約4.3千tと推計された。

表6-5 漁網防汚剤に係る排出量推計結果(平成26年度:全国)

対象化学物質		全国排出量(kg/年)		
物質番号	物質名	海面養殖	定置網	合計
80	キシレン	1,439,834	2,676,934	4,116,768
329	ポリカーバメート	336	231,831	232,167
405	ほう素化合物	502	552	1,054
合計		1,440,672	2,909,317	4,349,989